

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2009

課題番号：18320057

研究課題名（和文）

南北朝楽府の多角的研究

研究課題名（英文）

A Multifaceted Study of Yuefu in the Northern and Southern Dynasties

研究代表者

佐藤 大志（SATO TAKESHI）

広島大学・教育学研究科・准教授

研究者番号：90309625

研究成果の概要（和文）：

本研究では、『隋書』音楽志上・中・下の本文校訂と訳注作成を行い、その訳注の検討を通して、南北朝末期から隋王朝へと各王朝の音楽及びその制度が整理・統合されていく過程を明らかにした。南朝では梁王朝によって雅楽が整備され、陳王朝を経て、隋王朝の雅楽改革へと影響すること、北朝では中原以外の楽が中原の楽と融合しつつ隋王朝の雅楽や燕楽に吸収されてゆく過程などを辿り、南北朝から隋へと至る宮廷音楽の変遷を解明することを試みた。

研究成果の概要（英文）：

In the study we have translated and revised “Sui shu Yin yue zhi.” Moreover, through the analysis of the revised text, we have revealed the process through which Court music and its system had been arranged and integrated from the end of Northern and Southern Dynasties to the Sui Dynasty. We have also clarified the transition of Court music from the Northern and Southern Dynasties to the Sui Dynasty. That is to say, in the Southern Dynasties, the Liang Dynasty reformed Court music. The reformation, through the improvement by the Chen Dynasty, had a great influence on the development of Court music by the Sui Dynasty. Furthermore, in the Northern Dynasties, the legitimate music and illegitimate music were united into a new style of Court music, and then it was assimilated into the formal and informal music of the Sui Dynasty.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
2007年度	3,000,000	900,000	3,900,000
2008年度	2,800,000	840,000	3,640,000
2009年度	3,200,000	960,000	4,160,000
2010年度	0	0	0
総計	12,900,000	3,870,000	16,770,000

研究分野：中国古典文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論

キーワード：楽府・『隋書』音楽志・南北朝・制度・雅楽

## 1. 研究開始当初の背景

平成14～16年度に文部科学省科学研究費（基盤研究（C）：課題名「六朝の楽府と楽府詩」、研究代表者：神戸大学 釜谷武志）で得られた成果、すなわち南北朝以前の楽府と楽府詩に関する研究成果を発展的に継承し、南北朝期の楽府詩と楽府詩を多角的に研究することを企図した。

## 2. 研究の目的

本研究では、文学・歴史・思想・音楽などの各領域の研究者が協力分担し、幅広い領域の知見を結集することによって、南北朝期の楽府と楽府詩の問題を、多角的な視点から解明することを企図した。

具体的な検討課題として『隋書』音楽志を取りあげ、その本文の校訂と詳細な注釈の作成を行う。また併せて六朝から唐にかけての楽府関係資料を収集整理し、『隋書』音楽志とともに研究上の活用にも供するとともに、南北朝楽府に関する諸問題を解明することを目的とした。

## 3. 研究の方法

『隋書』音楽志本文の厳密な校訂を行い、詳細な注釈と現代語訳の作成にあたる。具体的には、研究代表者を中心として分担者をまじえつつ、訳注の草稿を事前に作成して各メンバーのもとに送付し、十分な検討を踏まえた上で会合をもって内容を議論する。

この基礎的作業をもとに、以下の南北朝の楽府と楽府詩をめぐる諸問題を考えることとする。

- ①南北朝楽府関係資料の収集と整理
- ②楽府詩の創作面・表現面からの研究
- ③楽府詩の受容と場に関する研究
- ④楽府の制度的側面の研究

⑤楽府詩の思想的背景の研究

⑥楽府の音楽的側面の研究

## 4. 研究成果

(1) 『隋書』音楽志上・中・下の本文校訂と訳注作成

『隋書』音楽志の本文校訂と詳細な訳注を作成し、その訳注稿の検討を通して、南北朝楽府に関する諸問題を検討。訳注の検討成果は、「隋書音楽志訳注稿」と題して、学術雑誌『中国学研究論集』に掲載し、公表した。

(2) 南朝末の雅楽整備と改革の解明

梁武帝による雅楽の整備とその改革が、それ以前の宮廷音楽とどのような関係にあるのかということ、またその整備・改革の意図を明らかにすることができた。この梁武帝によって整備された南朝の宮廷音楽が陳王朝を経て、隋王朝の宮廷音楽にどのような形で取り込まれ、北朝の宮廷音楽とどのように関わりあっているのかということをも明らかにした。

(3) 北朝の宮廷音楽の沿革とその実態の解明

北魏から北齊・北周に至る北朝側の宮廷音楽の沿革とその実態を解明すべく、分析と検討を重ねた。その結果、北魏から北齊・北周までの間、北朝の宮廷音楽が、『周礼』の記述に依拠して制度を整え、そこに西域系の楽曲と旧来の雅楽を織りまぜつつ、次第に整備されてゆく過程を明らかにすることができた。

(4) 隋王朝による南北朝の宮廷音楽の整備と統合の解明

隋王朝による南北朝各王朝の宮廷音楽の整備と統合の解明沿革を整理し、南北朝の宮廷音楽が、隋王朝によって統合される過程を明ら

かとした。特に、北朝の宮廷音楽から隋王朝の宮廷音楽が形成される初期段階、南朝旧来の雅楽及びその制度を手中に収めた後、北朝側の系譜と南朝側の系譜を整理・統合していった過程、及び隋王朝開国時期の俗楽整備の解明されたのかを明らかにした。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計20件)

- ① 大形徹・林香奈・柳川順子・佐竹保子・川合安・佐藤大志・長谷部剛、『隋書』音楽志訳注稿(五)、中国学研究論集、査読無、26号、2011、印刷中
- ② 長谷部剛・山寺三知・佐藤大志・釜谷武志、『隋書』音楽志訳注稿(四)、中国学研究論集、査読無、24号、2010、pp.1-53
- ③ 山寺三知、五代王処直墓の「散楽浮彫」について、國學院短期大学紀要、査読無、26号、2009、pp.3-46
- ④ 柳川順子、舞楽「抜頭」の渡来経路について、巖島研究、査読無、5号、2009、pp.54-63
- ⑤ 佐藤大志、張籍樂府詩訳注(17) — 「車遙遙」「妾薄命」「朱鷺」一、宇部工業高等専門学校研究報告、査読無、55号、2009、pp.1-35
- ⑥ 柳川順子、曹操樂府詩私論、狩野直禎先生傘寿記念三国志論集、査読無、巻なし、2008、pp.161-182
- ⑦ 佐藤大志・山寺三知・狩野雄・林香奈、『隋書』音楽志訳注稿(二)、中国学研究論集、査読無、20号、2008、pp.51-97
- ⑧ 長谷部剛、羅振玉校録『王子安集佚文』について、関西大学中国文学会紀要、査読無、2008,29号、2008、pp.39-54
- ⑨ 釜谷武志、兩漢樂府詩考、未名、査読無、26号、2008、pp.1-22
- ⑩ 山寺三知、陳応時著「中国樂律研究の回顧と展望」、國學院短期大学紀要、査読無、25号、2008、pp.23-35
- ⑪ 佐竹保子、中国古典における「賞」(上)、新しい漢字漢文教育、査読無、44号、2007、pp.33-44
- ⑫ 佐竹保子、中国古典における「賞」(下)、新しい漢字漢文教育、査読無、45号、2007、pp.9-18
- ⑬ 柳川順子、漢代五言詩歌と死後の世界、中国文学論集、査読無、36号、2007、pp.1-15
- ⑭ 大形徹、中国の死生観に外国の図像が影響を与えた可能性について—馬王堆帛画を例として、東方宗教、110号、査読有、2007、pp.1-36
- ⑮ 狩野雄、香りを含む女たち(下)—先秦漢魏晋期の詩歌辞賦作品に見える芳香と女性の表現について、東北大学中国語学文学論集、査読無、12号、2007、pp.1-23
- ⑯ 佐藤大志・長谷部剛・佐竹保子・釜谷武志、『隋書』音楽志訳注稿(一)、中国学研究論集、査読無、18号、2007、pp.47-85
- ⑰ 大形徹、『儀禮』土喪禮の「復」について—「復」は蘇生を願う儀式なのか、アジア文化交流研究、査読無、第2号、2007、pp.189-233
- ⑱ 山寺三知、鄭祖襄著『中国古代音楽史学概論』訳注(4)、國學院短期大学紀要、査読無、第24巻、2007、pp.139-159
- ⑲ 狩野雄、香りを含む女たち(上)—先秦漢魏晋期の詩歌辞賦作品に見える芳香と女性の表現について、東北大学中国語学文学論集、査読無、第11号、2006、pp.108-128
- ⑳ 佐竹保子、張華樂府の三个特点、中日学者中国学論文集—中島敏夫教授漢学研究五十年志念文集(劉柏林・胡令遠編、復旦大学出版社)、査読無、2006、pp.356-369

[学会発表] (計2件)

- ① 佐藤大志、『本事詩』について、中四国地区

日本中国学会研究大会、2009年5月28日、  
徳島市

- ② 佐藤大志、折楊柳考、中国中世文学会平成  
20年度研究大会、2008年10月25日、東広  
島市

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

佐藤 大志 (SATO TAKESHI)  
広島大学・教育学研究科・准教授  
研究者番号：90309625

### (2) 研究分担者

### (3) 連携研究者

釜谷 武志 (KAMATANI TAKESHI)  
神戸大学・文学研究科・教授  
研究者番号：30152838  
(H18→H19：研究分担者)

佐竹 保子 (SATAKE YASUKO)  
東北大学・文学研究科・教授  
研究者番号：20170714  
(H18→H19：研究分担者)

大形 徹(OOGATA TOURU)  
大阪府立大学・人間社会学部・教授  
研究者番号：60152063  
(H18→H19：研究分担者)

川合 安(KAWAI YASUSHI)  
東北大学・文学研究科・教授  
研究者番号：30195036  
(H18→H19：研究分担者)

柳川 順子 (YANAGAWA JUNKO)  
県立広島大学・人間文化学部・准教授  
研究者番号：60210291  
(H18→H19：研究分担者)

林 香奈(HAYASHI KANA)  
京都府立大学・文学部・准教授  
研究者番号：30272933  
(H18→H19：研究分担者)

狩野 雄(KANO YU)  
相模女子大学・学芸学部・准教授  
研究者番号：80333764  
(H18→H19：研究分担者)

山寺 三知(YAMADERA MITSUTOSHI)  
國學院短期大学・国文学科・准教授  
研究者番号：70352507  
(H18→H19：研究分担者)

長谷部 剛(HASEBE TSUYOSHI)  
関西大学・文学部・准教授  
研究者番号：50308152  
(H18→H19：研究分担者)